|  |  |
| --- | --- |
| <講演番号> |  第13回中四国若手CE合宿要旨集 (2019.9.12-13, 広島県三原市) |
| タイトル　ゴシック12ポイント |
| * 学　広島太郎（広大院工）正　広島四郎\*（広大院工）ゴシック10.5ポイント
 |
| Key Words: AFM, Nucleation, Centrifugal Separator, Particle Classification　Arial 10 Point |

**1．はじめに**

概要を作成する際、フォントの種類、文字の大きさ、文字をタイプする位置などに関してこの見本を参考にして下さい。**概要は、学生発表の方は半頁から一頁、招待講演・企業講演の方は一頁から二頁以内で記入してください。**なお、使用言語は、日本語あるいは英語のいずれでも結構です。

**2. タイトル**

タイトル部（題目、著者、キーワード）のテンプレートには、題目や著者名などの書式があらかじめ設定されていますので、各項目で示された項目を入力してください。

**2-1. 講演番号**　未記入でお願いします。

**2-2. 題目**題目を12ポイントのゴシックフォントで御記入ください。副題のある場合は、適宜、行を追加してください。他のワープロをご使用される場合は、上端に、この見本通りのヘッダーを各自御記入下さい。

**2-3. 著者名**　著者名の前に学会会員資格（正、学、未）等を御記入下さい。所属先は略称でかまいません。

**2-4. キーワード**　英文キーワードをArial 10 pointで5語程度まで御記入下さい。

**3. 本文**

本文は2段組で作成して下さい。頁の左右の余白を20 mm、段の間隔を10 mmとして下さい。本原稿をすべて英文で作成する場合は、（可能な限り）Times New Roman 10.5 pointをご使用下さい。他の設定は、和文のものに準じて下さい。

**3-1. 見出し**　各見出しはゴシック10.5ポイント太文字を用いてください。「3. 本文」のように大見出しをつける場合および「3-1.」のように中見出しを付ける場合には、前の段落との間にスペースを入れても入れなくてもどちらでも結構です。

 [ MEMO ]

**4. 図**



Fig. 1 高分子のAFM像

図や表のタイトルおよび図中の説明文、ならびに表中の文字は、日本語、英語のいずれでも結構です。文字の大きさはあまり小さくならないようにして下さい。表のタイトルは表の上部に、図のタイトルは図の下部に、センタリングとして表記し、本文と図表の間には十分な空白を設けて下さい。図を縮小して用いる場合は、図中の文字が小さくなりすぎないようにご注意ください。本文中で文献[1]等を記載する場合には、通し番号を振り、著者、出典、頁、年号を御記入下さい。スペースに余裕のない場合には、共著者を省略しても構いません。

**4-2. 連絡先**　タイトル下部の名前の最後に上付の\*を付け、概要の最後にe-mailを、右寄せで表記してください。TEL/FAXは任意で構いません。

**4-3. メモ欄**　概要の下部をメモ欄とするため、各自でメモ欄の大きさと位置を調節してください。

**参考文献**

[1] S. Hiroshima *et al., Langmuir*, **199,** 5255 (2009)

\*e-mail: hiroshima-sirou@okayama-u.ac.jp